

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）と NMIJ で共同作成した  
「Beyond 5G/6G を支える計量標準・較正技術ロードマップ」が公開されました

2024年5月20日  
計量標準総合センター

Beyond 5G/6G は、超高速大容量、超低遅延性、超多数同時接続などを実現し、2030 年代のあらゆる産業・社会活動の基盤となる新しい情報通信システムです。

Beyond 5G/6G の実現には、無線機の研究開発だけでなく無線機の性能を担保するために、我が国の計量標準に基づいた測定が必要です。しかし、Beyond 5G/6G で利用が検討されているテラヘルツ帯（100 GHz～）の一部の周波数帯（330 GHz～）において標準器や較正技術が整備されていないため、330 GHz を超える周波数帯の電波を利用した無線通信システムの運用が現時点では困難です。この課題を解決するために、テラヘルツ帯の計量標準、較正技術、および計測技術の確立が急務となっています。

そこで、我が国の国内最上位の計量標準を担う NMIJ と無線免許に必要な測定器の国内最上位の較正サービスを実施する NICT が共同で、Beyond 5G/6G の実現に必要な計量標準および較正技術などをロードマップにまとめ、公開しました。例えば、無線機の試験に必要な周波数計、電力計、スペクトラムアナライザ等の較正技術や較正に必要な標準器の研究開発について、周波数または開発スケジュールごとにまとめています。このロードマップは、Beyond 5G/6G 実現のための研究開発・普及計画を検討する際のマイルストーンとして活用いただけます。



ロードマップ (PDF) の  
ダウンロードは[こちら](#)



[https://unit.aist.go.jp/nmij/news/2024/pdf/B5G6G\\_Roadmap.pdf](https://unit.aist.go.jp/nmij/news/2024/pdf/B5G6G_Roadmap.pdf)